

国際化に向けて

国際戦略室

未来先端研究機構 蒲 章 則

少子化問題はまさに国難の一つで、わが国の将来に大きな影響を与えていることは国民が皆認識しており、切実なる大問題である。大学人である私達は、特に18歳人口が激減するので、大学の存亡がかかる死活大問題となっているが、残念ながら学者という職業に就くものは頭では理解しているが、修学者数減少に対処する行動がまったくない状況にある。私学ならともかく、国立学校法人においては公務員精神が抜けていない為に悲惨な状況下にある。大学の統廃合は明日の問題ではなく今日の問題で、まさに「待ったなし」の状況にある。昨年からは国際戦略室で当大学の国際化に向けて動き出した。

特色の少ない当大学のブランド強化の為に、国際化（グローバル化）を進めねばならないという結論になった次第である。わが国の大学では今や国際化が流行となり、どの大学でも国際化・グローバル化に取り組んでいる。又どの大学も伝統ある我が大学だけは存続させたいと躍起となっている。果たして、国際化は必要なのかという疑問が当然起こるのであろう。

表1に留学生の多い米国大学（総合大学）を紹介したい。留学生の多い大学は大学評価の一大要素で、名門校が名を連ねていることが解る。College（リベラルアート）になれば、留学生の多い大学は超一流校ばかりである。いかに国際化・国際交流が大切であるか理解できよう。魅力ある大学に作り変えて行くには、教職員が一丸となって取り組まなければならないが、残念ながら学内の隅々まで、この国際化が大切であることが理解できない又は抵抗されるのが現状である。専門知識豊かな教職員がこの有事になかなか対応できる柔軟性を持ち合わせていないのが、当大学最大の問題である。アジア地域で台頭する有名大学（シンガポール大学等）は、表2のようにもはや日本大学を越えつつある。東京大学（13位）はこのベスト10にも入っておらず、日本の大学全体が低迷していることが理解できる。

表1. 米国の留学生の多い大学 (National University)

大 学 名	留学生割合	総 学 生 数	ランキング
Florida Institute of Technology (FL)	33.0%	3,586	171
New School (NY)	32.4%	6,792	129
Illinois Institute of Technology (IL)	26.5%	2,991	103
University of Tulsa (OK)	25.8%	3,478	86
Suffolk University (MA)	23.2%	5,565	188

大 学 名	留学生割合	総 学 生 数	ランキング
UC San Diego (CA)	22.8%	26,590	44
Carnegie Mellon University (PA)	22.4%	6,554	24
Boston University (MA)	20.5%	17,932	39
Brandeis University (MA)	20.0%	3,621	34
Northeastern University (MA)	19.9%	13,697	39

参照：US News

表2. アジア地域大学ランキング

大 学 名	国 名	2017年ランキング	2018年ランニング
南洋工業大学 (NTU)	シンガポール	3	1
シンガポール国立大学 (NUS)	シンガポール	1	2
香港科学技術大学 (HKUST)	香 港	4	3
韓国科学技術振興機構 (KAIST)	韓 国	6	4
香港大学 (UHK)	香 港	2	5
清華大学 (TU)	中 国	5	6
復旦大学 (FU)	中 国	11	7
香港市立大学 (CUHK)	香 港	7	8
北京大学 (PU)	中 国	9	9
香港中文大学 (CUHK)	香 港	8	10

参考：Quacquarelli Symonds 2004-2017

シンガポール国立大学は、総学生数32,705名で留学生は28.9%で世界ランキングは2017年27位、2018年22位となっている。南洋工業大学は、総学生数25,367名で留学生は何と57.0%である。シンガポール・香港は英語が母国語なので、留学しやすい環境にあるが、やはり大学の多大なる努力がなければ上位校にならなかったであろう。

国際色強い大学と呼ばれるには、留学生比率10%は必要である。留学生増加、大学間の交換留学・研究が盛んになれば大いに評価され、魅力ある大学となり必然的に受験者が増えるであろう。

内向型の本大学から国際化に向けた大学へ変貌するには、精神的抵抗感、不安感が立ちはだかるであろうが、もう残された時間がない。残された道は大学間の統合か、魅力ある大学になり大変身するかの両者しかない。お体裁の国際化などはやる必要ない。優秀な人材の集まる当大学なら生き残りの選択が自ずと解ろう。国際化推進して魅力ある大学に変革するという情熱を教職員が持てば、自ずと道は開けよう。ぜひ大学一丸となって大荒波を乗り越えて行きたい。